



「日立データシステムズの技術を使用した次世代ストレージソリューションへ移行したおかげで、Lloyds銀行グループWMTTインフラの成熟モデル戦略を実現することができました」

Colin Everett
Lloyds銀行グループ
卸売市場および財務・商取引部門
ITインフラリーダー

LLOYDS
BANKING
GROUP



Lloyds銀行 グループ

業種 金融

ソリューション エンタープライズプラットフォーム、仮想化、統合化
ハードウェア – Hitachi Universal Storage Platform V (3)、Hitachi Universal Storage Platform VM (1)、Hitachi Virtual Storage Platform
ソフトウェア – Hitachi Tiered Storage Manager、Hitachi Tuning Manager、Hitachi Dynamic Provisioning
サービス ソリューションデザインおよび導入コンサルタント
 (日立データシステムズ グローバルソリューションサービス)

Lloyds銀行グループ、データセンターをHitachi Virtual Storage Platformによって移行

2009年のLloyds TSBとHBOSの統合によって新たにLloyds銀行グループが形成され、英国最大の小売銀行が誕生しました。同グループの卸売市場および財務・商取引部門(Wholesale Markets and Treasury and Trading(WMTT)部門)の事業をエンタープライズレベルで展開できるように、SANをHitachi Universal Storage Platform VおよびVMシステムのもとに仮想化し、同部門のインフラを集約して統合しました。このプロジェクトの成功に続いて、新しいHitachi Virtual Storage Platformに、ビジネス上の重要なアプリケーションを実行させるテストを実施しました。このテストの結果は予想を上回るものでした。

Lloyds銀行グループは、Lloyds TSBとHBOSの統合によって、2009年1月に設立されました。このグループの銀行業務は英国の3人に1人が利用し、現在英国最大の小売銀行になっています。このグループは、英国で最高の金融サービスを提供するという目標を掲げ、規模だけでなく、その評価と、カスタマリレーションシップの構築にも注力しています。

拡張性の必要性

グループのWMTT部門は卸売銀行業務部門に属し、Bank of Scotland (BOS)トレジャリーとLloyds コーポレートマーケットから構成されています。WMTTのストレージシステムが保管するデータは、ビジネス全般の成功

に欠かせないものであり、常にアクセス可能である必要があります。全部門の取引システムがこのストレージシステムに依存しているため、これは最も重要なリソースの一つといえます。しかし、新たに合併された部門では、このストレージプラットフォームがIT上の重大な問題、すなわち、増大するデータ需要に合わせて拡張できない、という問題に直面していることに気がきました。

従来のモジュラー・ストレージモデルは、実質的に規模が増した新しいエンタープライズ環境を支えられませんでした。四半期ごとに構造化データは20%増加し、非構造化データは30%の増加を示しましたが、これは業界平均を大きく上回っています。さらに、

積極的なビジネス拡大戦略に合わせて本質的に発生する、持続的成長への対応も確保する必要がありました。つまり、この銀行では、より優れた柔軟性、拡大性、そして大容量を持った、エンタープライズ規模のストレージソリューションが必要だったのです。

同社の要件を満たす最適なソリューションを見出すため、各種のストレージソリューションが調査されました。ストレジャーキテクチャーの本質に基づいた厳密なプロセスを通して、各ベンダーのソリューションの、信頼性、拡張性、およびパフォーマンスが評価されました。その結果、同社は日立データシステムズから技術を導入することになりました。

技術とインフラ要件を満たす日立のストレージ

WMTT部門のITインフラのリーダー、Colin Everett氏は、次のように述べています。「可用性と高いパフォーマンスの保証に加え、必要な場合はスケールアウトすることができるストレージプラットフォームが必要でした。同時に、各ビジネス分野がリソースを必要としたときに、リソースを素早く確実に提供できることも必要でした。日立データシステムズは、これらの技術的な要件を満たすだけでなく、そのロードマップも当社のITインフラ戦略に適合したのです」。

同社はHitachi Universal Storage Platform V(USP V)を1台導入して同社のメインのデータセンターをサポートし、さらにもう1台USP Vを導入して、それをディザスターリカバリーシステムにしました。また、離れた場所にある同部門の開発環境では、さらに2台のUSP Vと1台のHitachi Universal Storage Platform VMをインストール



「日立データシステムズのチームは、当社の初期の統合化からそれに続くプロジェクトに到るまで、終始、当社と密接に協力して作業してくれました。このコラボレーションが、当社の新ストレージ環境の成功の鍵となりました。今後も引き続き、共同してIT革新を進めることを期待しています。」

Colin Everett
Lloyds銀行グループ
卸売市場および財務・商取引部門
ITインフラリーダー

し、開発環境をサポートしています。これで、同部門の実際のストレージ環境がUSP Vのもとに仮想化され、1PBのデータを保持するSAN全体を、1つの仮想リソースにプールできるようになりました。

この結果、同社のストレージチームはより柔軟なサービスをユーザーに提供できるようになり、パフォーマンスへの影響なしに、必要なとき、必要な場所で、適切なリソースが使用できるようになりました。

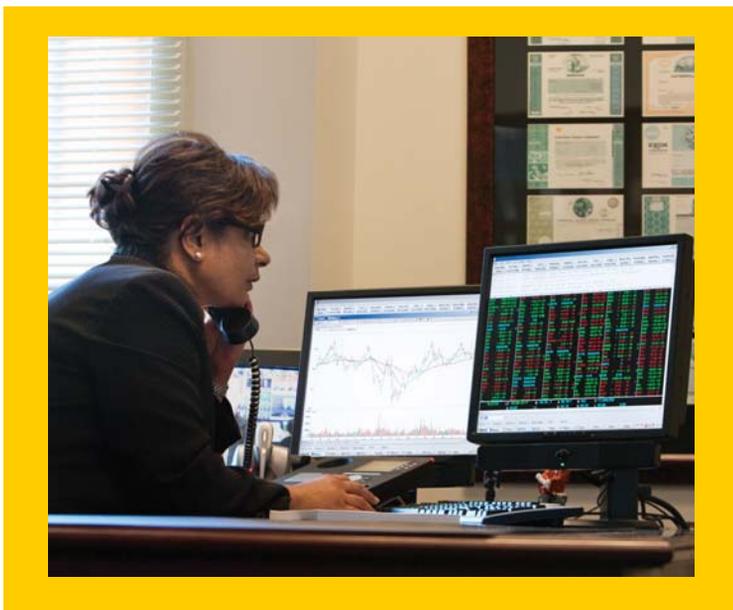
日立Virtual Storage Platformによるピークパフォーマンスの確保

現在同社は、日立データシステムズと共同で、新たなプロジェクトに取り組んでいます。そのプロジェクトでは、同社が持つ最重要プログラムの一つを運用するために、新しい日立Virtual Storage Platformの性能を評価し、取り入れようとしています。

このビジネス上クリティカルな、バッチベースの4TB Microsoft(R) SQL Server(R) 2005データベースは、毎日夜間に5,000万件のトランザクションを取り込むとともに、一日中常にリアルタイムで更新されています。多数の各種ビジネスツールがこのプログラムに照会を行い、WMTT部門全般の、ほとんどの中規模オフィスシステムで使用されるデータを検索します。同時に、このシステム全体はSAN経由で、リアルタイムにディザスターリカバリーサイトに複製されます。

このデータベースとデータベースによってサポートされる各アプリケーションが、常にピークパフォーマンスで実行できることを確認するため、同社はこのシステムをVirtual Storage Platform上で、3週間稼働させることにしました。

まず最初の調査結果では、新しいプラットフォームではアプリケーションのワークロードに対して、パフォーマンスが大幅に向上することが分かりました。そこで同社は、この段階で、膨大な量のコンポーネントの障害テストおよび機能テストを通常のワークロードの基で実施しました。その結果、同社が必須とする、サービスを決して中断しないというレベルが、このプラットフォームで提供できることも確認しました。



Everett氏は次のように述べています。「このテスト段階で重要だった点は、アプリケーションの変更も特にデータを最適化する必要もなく、このような結果が得られたことでした。アプリケーションは、今までの当社の既存プラットフォームで実行する場合と同様に、簡単にリストアできました。面倒な最適化の時間をとることもなく、そのままアプリケーションを実行できたため、リソースを最高の効率で使用し、すぐに結果を得ることができました」。

このことも、新プラットフォームのプロビジョニング能力を使用して実施したテストでは、重要でした。既存のプラットフォームからVirtual Storage Platformへの移行の担当者は、特別なトレーニングの必要なく、簡単に移行を実施できました。新しいタスクスケジュールのフレームワークによって、複数のプロビジョニング操作をバックグラウンドタスクとして並行して実行できるようになり、プロビジョニングの時間が短縮されたことにより、ストレージ管理者の生産性が向上することがわかりました。

初期テスト後、日立データシステムズのコンサルタントは、Lloyds銀行グループ卸売市場および財務・商取引部門と共同で、成果を検証しました。

Everett氏の結論は次のとおりです。「日立データシステムズのチームは、当社の初期の統合化からそれに続くプロジェクトに到るまで、終始、当社と密接に協力して作業してくれました。このコラボレーションが、当社の新ストレージ環境の成功の鍵となりました。今後も引き続き、共同してIT革新を進めることを期待しています」。

本書は、Hitachi Data Systemsのサクセスストーリーの翻訳です。
英文での正確な意味、ニュアンス等のご確認は、下記公開ページをご参照ください。
<http://www.hds.com/assets/pdf/hitachi-success-story-with-lloyds-banking-group.pdf>